

H R O S H I M A H A P P Y N E W E A R X V

世界中を魅了する 卓越した芸術的 ソプラノの世界

Barbara
Hannigan



©Elmer de Haas

バーバラ・ハンニガン日本初ソロリサイタル!!
圧倒的なテクニックと表現力で
世界中の聴衆を魅了し続ける
バーバラ・ハンニガンが誘う現代の歌の豊饒な世界

2013. 9. 8 日

開場 14:30 開演 15:00

[会場] アステールプラザオーケストラ等練習場
(広島市中区加古町4-17)

[入場料] 一般 前売 2,500円 (当日 3,000円)
学生 前売 1,500円 (当日 2,000円)

※全席自由・消費税込み ※未就学児の入場はお断りいたします。
※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はいたしません。

■ Program

ソプラノとピアノのための《夜への讃歌》
作曲/C. ヴィヴィエ

4つの歌 作品2
作曲/A. シェーンベルク

3つの歌
作曲/K. ヴァイル

初期の7つの歌
作曲/A. ベルク

《生命と愛の歌》より
II. ジャミーラ・ブパーチャ——今夜
作曲/L. ノーノ

※曲目は変更になる場合があります。

■ 音楽監督・お話

細川 俊夫

■ 演奏

バーバラ・ハンニガン(ソプラノ)
中川 賢一(ピアノ)

主催/ひろしまオペラ・音楽推進委員会、広島市
(財)広島市未来都市創造財団 アステールプラザ
中国新聞社

助成/平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
後援/広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ
広島ホームテレビ、テレビ新広島
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz



音楽監督・お話/細川 俊夫



ソプラノ/バーバラ・ハンニガン
©Elmer de Haas



ピアノ/中川 賢一
©Shuhei NEZU



HIROSHIMA HAPPY NEW EAR XV

世界中を魅了する卓越した芸術的ソプラノの世界

細川俊夫がお届けする現代音楽コンサートシリーズ「HIROSHIMA HAPPY NEW EAR」。シリーズ第15回に登場するのは、世界最高峰の舞台上で聴衆を魅了し続けるバーバラ・ハンニガン！
彼女は著名なオーケストラや指揮者と共演を重ね、圧倒的な歌唱技術と情熱的なパフォーマンスで、細川俊夫のオペラ「松風」を含めた数多くの世界初演作品を成功に導いてきました。
今回のリサイタルでは、ロマン派の香りを残しながら現代音楽の扉を開くベルクとシェーンベルクの歌曲から、ヴァイルのソング、同郷の非運の作曲家ヴィヴィエの作品、そして現代世界に介入するソプラノの作品に至る豊饒な歌の世界へ私たちを誘います。ピアニストは、本シリーズ再登場となる中川賢一。彼の卓越した技巧と表現力と、バーバラ・ハンニガンの歌とのコラボレーションにも期待が集まります。

【音楽監督・お話し】



細川 俊夫 Toshio HOSOKAWA

1955年広島生まれ。1976年から10年間ドイツ留学。ベルリン芸術大学でユン・イサンに、フライブルク音楽大学でクラウス・フーバーに作曲を師事。1980年、ダルムシュタット国際現代音楽夏期講習に初めて参加、作品を発表する。以降、ヨーロッパと日本を中心に、作曲活動を展開。日本を代表する作曲家として、欧米の主要なオーケストラ（ベルリンフィル、ウィーンフィル、クリーヴランド管弦楽団等）、ザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、ベルリン国立オペラ、モネ劇場等から次々と委嘱を受け、国際的に高い評価を得る。多くの作品が大野和士、ヴァレリー・ゲルギエフ、フランツ・ウェルザー＝メスト、サイモン・ラトルなど、世界一流の指揮者たちによって初演され、その多くはすでにそれぞれのジャンルにおけるレパートリーとして演奏され続けている。2001年にドイツ・ベルリンの芸術アカデミー会員に選ばれる。2006年以降ベルリン高等研究所からフェローとして何度も招待され、ベルリンに滞在。2012年にはドイツ・バイエルン芸術アカデミー会員に選出。2012年秋、紫綬褒章を受章。2013年夏は、ザルツブルク音楽祭のテーマ作曲家の一人に選ばれ、2曲の委嘱作品世界初演を含め、7作品が上演される。現在、HIROSHIMA HAPPY NEW EAR音楽監督、武生国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学およびエリザベト音楽大学客員教授。

【ソプラノ】



©Elmer de Haas

バーバラ・ハンニガン Barbara HANNIGAN

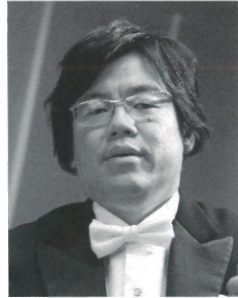
カナダ出身、トロント大学で学士号を取得、さらに同大学院でメアリー・モリソンに師事し音楽学の修士号を取得。常に新しい音楽に情熱を持ち続け、多くの作曲家とともに仕事をして研鑽を積み、現在はオランダのハーグ王立音楽院でマイナルド・クラーク及びニール・サマーに師事している。現代曲を得意とし、80曲を超える世界初演を行っている。また、ロックやクラシック音楽の公演にも力を注いでいる。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団には度々招かれており、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロンドン交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、クリーヴランド交響楽団、バイエルン放送交響楽団、ケルンWDR交響楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団などの世界中の主要なオーケストラ、アンサンブルとの共演をし、サイモン・ラトル、エサ・ペッカ・サラonen、ピエール・ブーレーズなど世界の主要な指揮者とも共演している。

最近では指揮者として活動の場を広げており、パリのシヤトレ座にてストラヴィンスキー「狐」で指揮デビューを果たし、イェーテボリ交響楽団、ロンドン・シンフォニエッタ、トスカ・オーケストラ、グルベンキアン管弦楽団と共演している。今後は、サンタ・チェチーリア管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、ブラハ・フィルハーモニア管弦楽団を指揮する予定である。リゲティ、シュトックハウゼン、デュティユー、ブーレーズ、ナッセン、バリー、ベンジャミン、デュサバンなどの作曲家ともコラボレーションをしている。

近年のオペラでは、2012年7月にエクサン・プロヴァンス音楽祭においてジョージ・ベンジャミン「Written on Skin」世界初演のアグネス役を演じ、今年の春にはロンドンのオペラハウスでも公演が行われた。また、歌手／ダンサーとしてサーシャ・ワルツが振り付けしたデュサバン「Passion」や細川俊夫「松風」に出演し、彼女の歌唱力と身体での表現力を発揮し、絶賛された。その他、同年10月にはモネ劇場での「ルル」のルル役でのパフォーマンスも高い支持を受けた。今後は、バイエルン国立歌劇場にて「兵士たち」（マリイ役）、モネ劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」（ドンナ・アンナ役）、エクサン・プロヴァンス音楽祭にてベアスとメリザンド（メリザンド役）などが予定されている。

【ピアノ】



©Shuhei NEZU

中川 賢一 Ken'ichi NAKAGAWA

桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同時に指揮も学ぶ。卒業後、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科最高課程、特別課程を首席修了。在学中にフォルテピアノ、チェンバロも習得。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ヨーロッパ国内外の様々な音楽祭に出演。1998年帰国後は、ソロ、室内楽、指揮などで幅広く活動。NHK-FMなどに度々出演、新作初演多数。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」のピアニスト、指揮者。夏木マリの「印象派」シリーズ連続出演や、故・頼近美津子、伊藤ひろ子、平野文等との朗読と音楽など、他分野とのコラボレーションも活発。「Just Composed in Yokohama」、「超難解音楽祭」（仙台）音楽監督・プロデュースなども行う。サントリー・サマーフェスティバル、東京の夏音楽祭、武生国際音楽祭に数多く出演。指揮者としては、東京室内歌劇場においてP.グラス作曲「流刑地」、P.ヒンデミット作曲「往きと帰り」、M.ナイマン作曲「妻を帽子と間違えた男」などの現代オペラを指揮。また、芥川也寸志作曲、オペラ「ヒロシマのオルフェ」では広島交響楽団と共演。2010年トップダンサーの熊谷和徳との共演で東京フィルを指揮し各方面から好評を博す。NHKテレビ「名曲探偵アマデウス」、東京フィル、札幌、水戸室内管等でピアノ演奏とトークを交えたアナリーゼ等を展開。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。2001年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。
https://twitter.com/ken_ichi_n

入場料 (全席自由・消費税込み)

一般 前売 2,500円 (当日券 3,000円)

学生 前売 1,500円 (当日券 2,000円)

※未就学児の入場はお断りいたします。
※前売券が売り切れた場合は、当日券の販売はいたしません。

チケット販売所

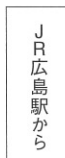
- アステールプラザ 082-244-8000
- エディオン広島本店 082-247-5111
- ヤマハ広島店 082-244-3779
- 福屋広島駅前店 082-568-3942
- 小夜曲(セレナード) 082-246-7727
- 中国新聞社読者広報部 082-236-2455
- 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:203-081)
- ローソンチケット 0570-084-006 (Lコード:66464)
- オンラインチケット
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/naka-cs/opera/ticket/>

お問い合わせ

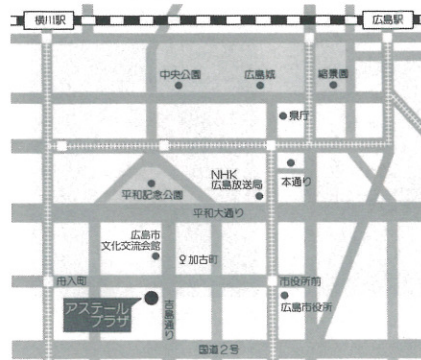
ひろしまオペラ・音楽推進委員会

(アステールプラザ内)
〒730-0812 広島市中区加古町4-17 TEL:082-244-8000
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/naka-cs/opera/music>

交通のご案内 ※自家用車でのご来場はご注意ください。



- 市内電車 ●広島港行き(紙屋町経由) / 「市役所前」下車 徒歩600m
- 江波行き / 舟入町下車 徒歩400m
- 市内バス ●広島バス 吉島営業所行き、または吉島病院行き / 加古町下車 徒歩200m
- 15分



次回公演のご案内

HIROSHIMA HAPPY NEW EAR XVI

【日時】
2013年12月8日(日)
15:00開演

【会場】
オーケストラ等練習場

【出演】



児玉桃 (ピアノ)
©Vincent Garnier